

# 慢性腎臓病 ご存じですか

腎不全予備群 国内に推定1300万人

■糸球体濾過量(GFR)の早見表

	血清クレアチニン(mg/dl)	40歳	50歳	60歳	70歳
男性	1.0	67	63	60	57
	1.2	55	52	49	47
	1.5	43	41	38	37
	2.0	32	30	28	27
女性	0.7	74	69	65	63
	1.0	50	47	44	42
	1.2	41	38	36	35
	1.5	32	30	28	27

単位はml/分/1.73m<sup>2</sup>、CKD診療ガイドから

早見表の詳細は日本腎臓学会のウェブサイト (<http://tinyurl.com/bx8fhga>) へ。

The Asahi Shimbun  
腎臓専門医の受診が必要になる目安  
CKD診療ガイド2012をもとに作製

GFR	尿たんばく		尿たんばく	尿たんばく	尿たんばく
	尿アルブミン定量	尿たんばく			
90	正常	(-)または(±)	(+)	微量	明らかなに多い
60	不要	かかりつけ医へ			
50	40歳未満なら必要				
40	69歳未満なら必要				
30					必要
15					

## 無自覚検査で警告値

慢性腎臓病(CKD)という病気を知っているだろうか。腎臓の異常を早期発見するために提案された新しい病気の考え方だ。患者は国内に約1300万人と推定され、「新たな国民病」とも呼ばれる。日本腎臓学会は、重症の慢性腎不全まで進まないよう、糖尿病が持病の人らに早めの受診を呼びかけている。

兵庫県玉塚市の男性(68)は今年、「CKDの疑いがある」とかかりつけ医から言われ、腎臓が専門の今井園裕さんが院長を務める「中山寺まいクリニック」を受診した。「聞いたことない病気だな」と男性は戸惑った。腎臓の病気が、かなり重くなるまで自覚症状がほとんどないため、ある日突然、透析が必要となる腎不全とわかることもある——そんなことがない

ように、と10年前に米国で提案され、国内にも広がってきたCKDかどうかは、おおよそCKDかどうかは、おおよそ糸球体濾過量(GFR)と呼ばれる数値で見える。健康診断などで測る「血清クレアチニン」という値と性別、年齢から計算できる「上表」。数値はいほど正常に近く、小さいほど腎不全に近い。60未満の状態が3カ月以上続いたりすると、CKDと判断される。

この男性の場合は50。日本腎臓学会が今年6月に出したガイドでは「軽度〜中等度」に当たるレベルだった。自覚症状はなかったが、検査を受けると血糖値が高めで、最高血圧が160、最低血圧が105と高く、今井さんは「このままでは糖尿病になる可能性が高い。腎機能の低下にも注意が必要」と言った。

## 造影剤には注意必要

CKDの患者では、心臓カテーテルの検査や、がんの診断のためのCT検査などで造影剤を使う時には、注意が必要だ。造影剤を使うと血流が減り、血中の老廃物の量が増えて腎臓に負担がかかる。CKDの悪化につながるからだ。

だが必要な検査をしないと、デメリットもある。米国の急性心筋梗塞患者を対象にした調査によると、造影剤を使う心臓カテーテル検査をしなかったCKD患者は、検査をした患者より生命予後が悪かった。

そこで関連の3学会は今年4月、安全な検査や診断のための指針をまとめた。

造影剤には注意必要

心臓カテーテル検査の場合にはGFR60未満、CT検査では45未満の人に造影剤を使う前後に、生理食塩水や炭酸水素ナトリウムの輸液を点滴する予防法を推奨する。

聖路加国際病院(東京都)はこの春、45未満の患者にCT検査をする際、担当医が腎臓内科医に必ず電話をして予防策を取る運用を始めた。その結果、造影剤による腎症になった人は減ったという。

小松康宏・腎臓内科部長は「造影剤の使用には注意が必要だが、高度な先進医療には欠かせない。適切に予防すれば多くの造影剤腎症は回避、軽減できると知ってほしい」と話す。

(辻外記子)

そう警告したのは、糖尿病患者では全身の動脈硬化が進み、細かい血管がたくさんある腎臓も傷みやすく、CKDの進行も早いから。田村功一・横浜市立大准教授(腎臓内科)は「尿たんばくがわずかに見つかった段階で、腎臓が大きなダメージを受けていることが多い」と話す。

男性は、朝晩に計2種の降圧薬を飲み、夜は食べるコメの量を減らした。最高血圧は130に低下。GFRは、50から62に回復した。

新しいガイドは、GFRに加えて、糖尿病の進行を示す尿アルブミン定量や、尿たんばくの程度によって専門医を受診する必要があるかどうかを示している。下表。

ガイドの改訂委員長を務めた今井さんは「若い人は進行が早いので、早めに専門医を受診してほしい。進行する前に健診結果などに注目し、危険度を評価することが大切」と話す。進行を防ぐには減塩や禁煙、酒を飲み過ぎない、肥満の解消(BMI25未満)などが有効という。

専門医は日本腎臓学会のウェブサイト (<http://tinyurl.com/b4xj66v>) で検索できる。